【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年 3 月 25 日

1．事業概要

（1）実行団体名　　：株式会社ハブクリエイト
（2）事業名　　：八重山・離島の子ども派遣基金事業
（3）事業実施期間　：2020 年 5 月～2022 年 3 月
（4）資金分配団体名：公益財団法人みらいファンド沖縄

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了　／　☐ 整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2） 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐ 全て公開した　／　☑ 一部未公開　／　☐ 未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 株式会社のため、監事監査規定に代替するものとして、株式総会議事録が該当するものとする。 ただし、公開が難しいため、必要に応じて公開としたい。
（3） 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐ 変更があり報告済　／　☐ 変更があったが未報告　／　☑ 変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 ２０２３年１月の株主総会での監査承認を行った。
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している □ 報告書に表示している ／ □ イベント実施時に表示している □ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有り	・派遣費用補助拡大、石垣市長要請（八重山毎日新聞、八重山日報掲載） ・派遣費問題白書発行記念シンポジウム（琉球新報記事掲載）
広報制作物等	有り	みらいファンドにてリーフレット制作
報告書等	有り	みらいファンドにて白書制作

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

離島の離島である八重山地域は県大会へ出場するにも、航空運賃・宿泊費が発生し大きな負担となっている。 地域に明るい話題を提供している強いチームほど負担感も大きく、兄弟がいる場合はその分増える。 なかには入部を躊躇したり、遠征に参加できない子どももいる。 父母会等は資金造成等の活動で支えているが限界がある。 当事業で得られたデータも活用し、沖縄県も含め地域全体で子どもたちの参加機会の平等を支える仕組みづくりが必要。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

全日本バレーボール小学生大会
協賛
大会指定使用球
日本小学生バレーボール連盟
全日本バレーボール小学生大会 沖縄県大会
主催 (財)日本バレーボール協会／日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社
後援 (財)日本体育協会 日本スポーツ少年団／報知新聞社／沖縄県
協賛 株式会社ファミリーマート／全日本空輸株式会社
オフィシャルボール 株式会社モルテン／株式会社ミカサ
協力 株式会社デサント
主管 沖縄県バレーボール協会／沖縄県小学生バレーボール連盟
沖縄県バレーボール
落下注意!
優勝賞状
八島マリンズ
バレーボール部
全国大会出場権
全国の舞台へ
GO GO!!
感動をありがとう!!
祝☆優勝おめでとう!!
やった〜全国大会へGO GO GO
目指すは全国の舞台!
令和4年混合 八島マリンズ

5月に『子ども応援まつり』

実行委　部活動費造成など目的

八重山・離島の子どもたちの部活動費（遠征費）造成などを目的に「島の子ども応援まつり実行委員会」（喜納正雄実行委員長）がこのほど発足し、5月28日に新栄公園で資金造成に向けた「子ども応援まつり」を開催することになった。これに先立ち、喜納委員長らが25日午前、中山義隆市長に「児童生徒の部活動等派遣費補助拡大を求める要望」を行った。

児童生徒の部活動等の派遣費用補助拡大を求める要望を行う喜納正雄実行委員長（右）＝25日午前、市役所応接室

実行委は昨年12月13日に小中学校部活動の保護者ら有志で設立。新たな資金造成手段の創出を目的に同まつりを開催する。市内小中学校の部活動や団体の舞踊、パフォーマンスを披露。出店で飲食を販売し、遠征・活動資金を造成する。当日は、市民会館で開かれる青年会議所沖縄地区協議会のサミットともタイアップする方針。

中山市長に対する派遣費用補助拡大の要望で、喜納委員長は現行の派遣費補助に感謝しつつ、「離島の児童生徒は本島で開催される県大会出場だけでも、旅費や宿泊費など3万から4万円の出費を強いられ、家計への負担はまだ大きい。多額の費用により、子どもたちが県大会の出場や部活動をすること自体諦めることも多い。機会の損失や潜在的な離島格差が起きている」と指摘。「子どもたちが九州や全国大会で思い切り実力を発揮できるよう、国や県への支援を要請するとともに市の補助事業の支援拡大も求めたい」と述べた。

中山市長は「同じ沖縄県内の子どもなのに、本島の小中学生は本島開催なので移動や宿泊費がかからない。その格差については、県の支援も必要だと考える。市も新年度でできるか財政と相談して検討させてほしい」と答えた。

上原さんのカジマヤ

家族らに囲まれ

数え97歳の上原キミさん＝石垣市登野城＝のカジマヤーパレードが22日、石垣市生年祝い式典会場の市民会館から石垣地方合同庁舎南側の自宅まで行われた。近隣の住民らが風車を持って長寿をあやかった。

キミさんは1928年（昭和3年）、黒島生まれ。23歳のとき、漁業を営む正次さん（2013年没、享年88歳）と結婚し、登野城に嫁いだ。以来約50年、公設市場で魚を売って生活を支えた。子6人、孫20人、ひ孫18人、やしゃご6人に恵まれた。

恥ずかしい」などの意見が

みらいファンド沖縄

部活の離島苦訴え

派遣費問題、シンポで発信

【那覇】部活動の派遣費問題を考えるシンポジウム（主催・公益財団法人みらいファンド沖縄）が18日午後、なは市民協働プラザで開かれ、石垣市の関係者らが登壇、児童生徒の離島苦を訴えた。

シンポジウムは「沖縄・離島の部活動等派遣費問題白書発行記念」として実施。石垣市から喜納正雄氏㈱ハブクリエイト代表取締役）、市議の石川勇作氏が出席した。

喜納氏は部活動派遣の現状を報告した。八重山高校郷土芸能部は全国大会派遣で７００万円、マーチングバンド関係は運搬費で２４０万円かかるようで「父母からすると年中、資金造成となる」と指摘。地域の祭りなどに飲食店を出店して資金造成する取り組みも新型コロナ禍で減少、資金造成手段を失ったという。今後、資金造成のみを目的としたイベントを準備していると伝えた。

石川氏は石垣市から本島への部活動派遣人数が10年前の約１０００人から約４０００人（22年）に増加し、全国大会出場のチャンスが増えたと報告。スポーツのプロ選手を増やす上でも部活動生への支援強化が必要とした。

主催者は派遣費問題から▽地域による旅費格差▽競技種目による費用負担格差▽成長の機会格差▽短期間で煩雑な旅行手配―など七つの課題を掲示。今後の解決案として県のふるさと納税活用、競技団体と地域企業をつなぐ基金プロジェクト、旅費コストダウンを目指すサービスなどを掲げた。

部活動の派遣費問題の解決を目指すシンポジウムが開かれた＝18日午後、なは市民協働プラザ

県内コロ

県は15日、10歳未満から90歳以上の男女93人の新型コロナウイルス陽性が確認されたと発表した。前週の同じ曜日から40・４％（63人）減少した。重症化リスクが高い発生届け出対象者は25人だった。

新規陽性者数は年代別で40代の16人が最多。30代14人、10代、50代の12人と続く。

直近１週間の人口10万人当たりの新規陽性者数は前

カラーガード・
マーチングパーカッション全国大会

JMBA
Photo Choice
YAMAHA
The 50th JMBA NATIONAL CHAMPIONSHIPS
JAPAN MARCHING BAND ASSOCIATION
50th
Dynasty
EVANS

・八島マリンズ沖縄大会写真
全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会参加時の写真。

・子どもまつり記事
当事業を通して、要望の多かった派遣費用補助拡大について、実行委員会を立ち上げ石垣市長へ要請を行った。

・離島派遣シンポ記事
部活動の派遣費用の問題を考えるシンポジウムが開催され、琉球新報等で報じられた。

・八重山高校カラーガード部全国大会
沖縄県大会を勝ち抜き全国大会へ出場。最高賞に輝いた。
（全国大会出場時に派遣費用補助実施）

・石垣二中マーチングバンド全国大会
沖縄県大会を勝ち抜き全国大会へ出場。最高賞に輝いた。
（県大会出場時に派遣費用補助実施）